

# 心の ともしび



暗いと不平を言うよりも  
すすんであかりをつけましょう

## イエスさまのほほえみ

もりた なおき  
森田直樹 神父

中世ヨーロッパでよく描かれていた「全能者キリスト」のタイトルがついた絵画には、少々いかめしいイエスさまのお顔が描かれています。ところがはたして、イエスさまは本当にいつも苦虫を噛み潰したようなお顔をされていたのでしょうか？

私は違うのではないか、  
と思います。

イエスさまはいつも神さまに向かって「父よ」と呼びかけられていますが、この呼びかけは、小さな子どもがお父さんに向かって呼びかける親愛の情がこもった呼びかけでした。イエスさまが祈る時、「父よ」と呼びかけられる時は、おだやかなほほえみに満ちたお顔だったのではないか、と思うからです。

また、イエスさまは、多くの人々をおそばに招かれました。時には、貧しい人、病気の人が、障がいを持っている人、コンプレ



ックスを抱えている人、また社会から「罪人」として排斥されていた人たちをもおそばに呼ばれました。当時、社会からのけ者にされていた人たちは、たえず警戒心をもって、おそろおそろ周りの人たちに接していたことでしょう。それでもこれらの人たちの多くがイエスさまについていったことを考えると、イエスさまがあふれるばかりのほほえみをもって、一人一人に接しておられたのではないのでしょうか？

そのご生涯を通して「互いに愛し合いなさい」と人々に教えられたイエスさまご自身が、出会う人たちとほほえみを交わし合い、お互いを本当に大切にしながら関わって、自ら模範を示されていた、と私は思うのです。

目には見えませんが、今日も、私たち一人一人にイエスさまがほほえみかけてくださっているのだと思います。たとえ私たちが悲しみの底にいたとしても、イエスさまのほほえみは注がれ続けているのです。

ホームページ (<https://www.tomoshi.or.jp>)



### 【心のともしび運動 ご支援のお願い】

心のともしび運動は、世界の平和と一人ひとりの真の幸せを願って、ラジオ、機関紙、インターネットを通じて神の言葉を伝えています。この活動は、すべて援助会員の皆様からの献金によって運営されています。人として人のために生きる力の泉となる神の言葉を一人でも多くの方に伝えられるよう、ぜひ、援助会員になってご支援くださいますようお願い申し上げます。住所、氏名をお知らせください。申し込み用紙をお送りさせていただきます。

仮事務所 連絡先 (電話：075-211-9341 FAX：075-211-9343)

〒602-0934 京都市上京区一条殿町502-1 カトリック西陣教会青年会館内 心のともしび運動YBU本部